

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 統計調査室	所属長名	飯島 和夫	電話	483-1151 内線4200
-----	-------	-----	-------------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業				短縮コード	経常	3106	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	01	統計調査総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市事務分掌条例 八千代市行政組織規則第6条 八千代市統計協議会補助金交付要綱								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
各種統計調査に係る総務管理業務として、統計調査が円滑に実施できるような環境づくりや、統計調査に関する情報の配信やデータの管理等を行い、統計調査の重要性を周知するために実施。 八千代市統計協議会への助成 (各種統計調査に対応するため、昭和54年4月統計調査員の確保並びに育成、統計思想の普及を図るために発足)												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	07	計画の推進のために					
近年における統計は行政のための統計から、社会の情報基盤へと幅広い資料に活用されている。統計を得るためには調査員等の正確な実地調査が基になるが、調査をとりまく環境は、生活形態の多様化や個人情報等プライバシー意識の高揚などにより、厳しい状況に置かれている。 そのため、市および統計協議会による統計思想の普及など、統計調査を円滑に実施するための環境づくりが重要になってくると考えられる。					大項目(節)	01	市民主体による自立的な行政経営					
					中項目	01	第1章市民参画によるまちづくりの推進					
					小項目	02	(2)市民参画体制の充実					
					細項目	02	②市民ニーズの的確な把握と市政への反映					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	統計情報の収集及び管理 八千代市統計協議会への補助 (調査員の確保・育成、統計思想の普及)								
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ・統計調査に関する情報の収集及び配信、統計資料の管理 (市ホームページに統計データ等の掲載、広報による統計調査の啓発、千葉県京葉ブロック研究会・市町村統計主管課長会議への出席、統計協議会へ各種統計調査への協力依頼等) ・八千代市統計協議会への補助、県統計協会等への負担金の支出 (調査員研修会の実施等) ※平成24年度に計画していること: 市ホームページ等の媒体を有効活用し統計に関する幅広い情報の提供を行う。								
意図 (何を狙っているのか)	統計調査が街づくりや社会生活基盤の資料等に活用されていて市民生活とは切り離せない重要性等について周知を図り、各種統計調査が円滑に実施できるよう環境を整備する。								
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外								
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度	
				実績	計画	実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	八千代市統計協議会会員数	人	86	86	84	84		
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	八千代市統計協議会会員の調査員等延べ従事数	人	14	69	16	75		
	指標2								
	指標3								
成果指標	指標1	調査員等に占める会員の割合	%	78	100	23	100		
	指標2								
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業			所属名	総合企画課 統計調査室	
	単位	22年度		23年度		24年度		
		実績	計画	実績	計画			
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	1,780	672	634	1,633	
		その他	千円					
主な事業費の内訳		八千代市統計協議会補助金 200 事務補助員賃金 1241	八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200 事務補助員賃金 1157			
人件費 (B)		千円	4,553.9	7,273.6	7,270.6	7,270.6		
トータルコスト (A)+(B)		千円	6,333.9	7,945.6	7,904.6	8,903.6		

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	この事務事業の意図として、各種統計調査が円滑に実施できるような環境を整備していくには、市民の統計調査に対する関心と理解を高める必要があり、市民参加体制の充実に結びつくと思われ、統計調査の結果が市民生活の方向性を的確に捉え市の施策や計画に反映される。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	統計情報の配信や歴年統計データの管理、統計思想の普及は、各種統計調査が実施される限りは今後も継続して実施していく必要がある。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	統計法に基づき実施される各種統計調査の調査業務を、円滑に遂行するために必要な事務事業であり、現行の制度の中では民営化は不可能と考える。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	国、県等からの受託事業である統計調査を円滑に実施できるよう、現状のままでよい。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	市広報紙・ホームページ等を活用した統計情報の配信や調査への協力依頼、八千代市統計協議会による統計思想の普及を継続して行ってゆく。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				2
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業			所属名	総合企画課 統計調査室																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			各種統計調査の円滑な実施に向けて、調査の時期や規模を考慮し調査員の計画的な確保にあたり、統計の重要性や調査実施予定等の周知にも努めてゆく。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	統計情報の配信や統計調査の重要性の周知を継続して行うことは円滑な調査の実施に繋がるが、調査客体のプライバシー保護意識の高まりなど厳しい調査環境を考慮し、成果不変とした。経費については人件費や機器賃借料が大部分を占めており、削減は難しい。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし。	

所属長コメント	統計調査の実施にあたり、プライバシー意識の高まりや個人情報保護、生活様式や居住形態の多様化など、統計調査を巡る環境は一層厳しさを増している。統計調査が円滑に実施できる環境を整備することが市民の市政への参加につながり、統計情報から本市の実態把握や計画策定への利活用を図るうえで、この事業を継続していく必要がある。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。